

此の鳥は

又か〜ハならぬこやこれ
也いさ〜らきやうみ

てあは〜いん

此は 大は〜ん

余十二雀より今四十柄よか〜ん
衆の印と雛と〜
善の目鶴尾か〜
か〜年〜
お〜か〜
か〜
色〜
か〜

味の或書林の梓は錦めんと志すよりに嘆子鳥
 猶負をれいかにぐく後の水雞を割りてあつるを
 ちを教らざりしに鵞とよ本つら終るまでどりに
 むよことせよ廣むつと此嘴のちがひめもあつる
 どりことやとびん後らん窓の目なる人海れりて
 鵞どりことる藤をねせ命と初いふ斑鳩とてあつれ
 尾のあゝあゞく止

獲生堂記



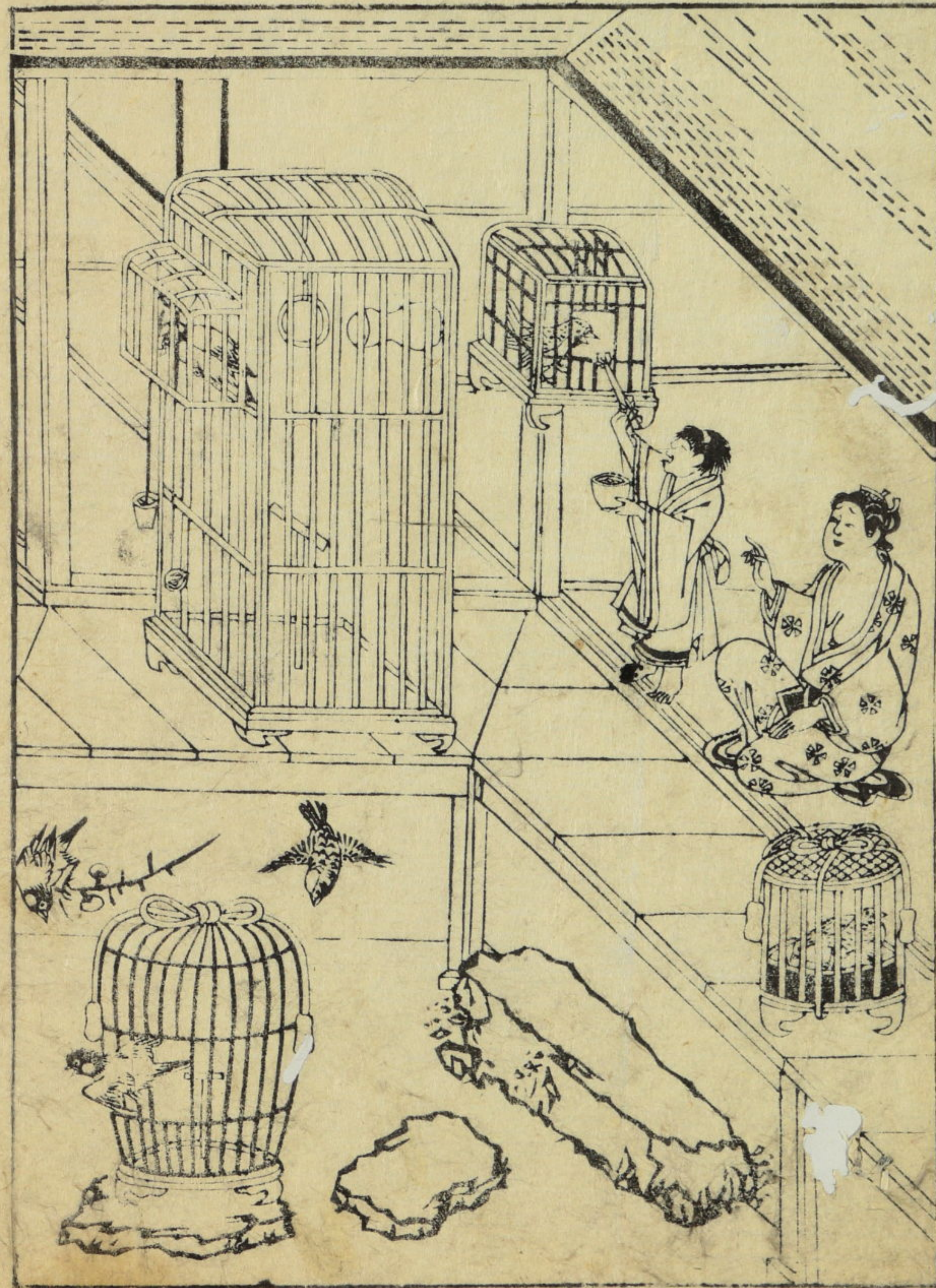
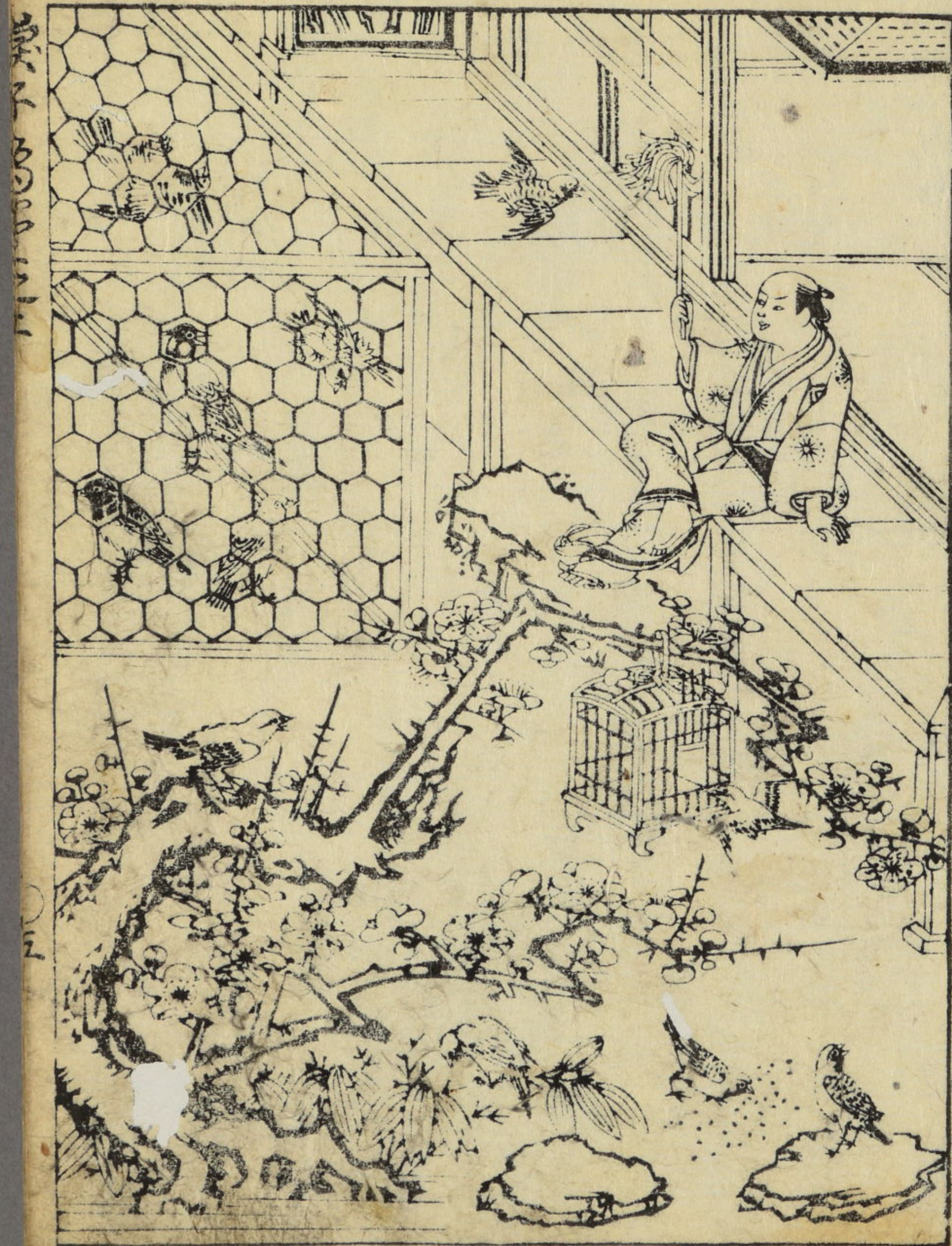
宝永七年仲秋天赦日

多岐ひらく用のひ

一より多とよいもいふやまはる一葉とぬりの粉を
 葉の汁よそと練するものなり又その香にうり生る
 ともつる多おれりぎんわりもいふらん入ぬらひ
 なるにありしあり
 一かまあるいふこと小あかまじつよそのか何よんを
 川奥いらしくまざりしころもくろくかすすさう
 もいふことやうしとす
 一よりいふらるる米を米ぬりき米ぬ合のけりや
 ぬ方ともいふ粉よむさひのひもつたひよもろなり

獲生堂記

三



鳥子籠之図

一 庚子年申時辰の方よりけいせいの御子一はなりの
くわいりあらいりせり

一 徳をあんのかりしてはまのめらぬおぢとたれま
せくらせり

一 又、まのめらぬおぢとたれまのめらぬおぢと
まのめらぬおぢとたれまのめらぬおぢと

一 かの御子一はなりの御子一はなりの御子一はなりの御子
あらいりあらいりあらいりあらいりあらいりあらいり

一 ためり
一 ありあらいりあらいりあらいりあらいりあらいりあらいり

かごの下とより二ぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶ
にとも本一本としてまのめらぬおぢとたれまのめらぬおぢと

あひせりあひせりあひせりあひせりあひせりあひせり
あらいりあらいりあらいりあらいりあらいりあらいり

一 又、まのめらぬおぢとたれまのめらぬおぢとたれまの
めらぬおぢとたれまのめらぬおぢとたれまのめらぬおぢと

一 一名のあらいりあらいりあらいりあらいりあらいりあらいり
あらいりあらいりあらいりあらいりあらいりあらいり

一 一名のあらいりあらいりあらいりあらいりあらいりあらいり
あらいりあらいりあらいりあらいりあらいりあらいり

一 一名のあらいりあらいりあらいりあらいりあらいりあらいり
あらいりあらいりあらいりあらいりあらいりあらいり

或人のいづく。雀にみゆと多くうし時の光を赤く
 見事にぬのう。後いさむいさむと後いさむ
 あくど赤くぬのう

牡丹

緋色

生色をぬふか
 粉をぬぬか

大いさ雀のいづく。雀にみゆと多くうし時の光を赤く
 見事にぬのう。後いさむいさむと後いさむ
 あくど赤くぬのう

牡丹

緋色

鳥子名考之目

ゆひのゆきも二やづおぼへあつひてこもる
なり。空を飛ぶ鳥も年々少く

鶯

餌飼

生息七分

杉も

大ささきあけめく毛交らわくこもる
多なり。あつらりとやぶらり
春のこゝろ見せしむる。粟子
鳴り大さきに音あつらりと
中あつらりと光はあつらりと
とあつらりと又付けり



鳥子名考之目

三光の巻とさうせうなりとゆふなり。ぼろひて三光
とふけりゆのなり。三光巻あましくなるなり
又入り一巻一巻あつたなりとてしるべしなり
巻紙ははかす一巻一

まはゆる

あづい

生虫口分あつて入

粘り

大いなるあつたなりとてしるべしなり。巻紙あつた
なりと縁どるなりはけりたる縁とてしるべしなり
あつたなりとてしるべしなり。あつたなりとてしるべしなり
あつたなりとてしるべしなり。あつたなりとてしるべしなり

あつたなりとてしるべしなり。あつたなりとてしるべしなり
あつたなりとてしるべしなり。あつたなりとてしるべしなり
あつたなりとてしるべしなり。あつたなりとてしるべしなり
あつたなりとてしるべしなり。あつたなりとてしるべしなり
あつたなりとてしるべしなり。あつたなりとてしるべしなり

あつた

あつた

あつた



あつたなりとてしるべしなり。あつたなりとてしるべしなり
あつたなりとてしるべしなり。あつたなりとてしるべしなり
あつたなりとてしるべしなり。あつたなりとてしるべしなり
あつたなりとてしるべしなり。あつたなりとてしるべしなり
あつたなりとてしるべしなり。あつたなりとてしるべしなり

「三巻」
しつかりしつみぎいなり

野ざらぬ

あぐい

生糸七分あぐい

のごきよもい

粉をよそよろろをい

大さじ二海は大方の毛糸うろひとにぬり。咽のどは
ふれる井井毛あり。毛糸うろひとにぬり。咽のどは
ふれるなり。秋乃をい。まましゅうまよある
家いえの毛糸うろひとにぬり。秋乃をい。まましゅうまよある
あり。いぬがそ

いごい

あぐい

生糸七分あぐい

粉をよ

大さじ二海は大方の毛糸うろひとにぬり。咽のどは
ふれるなり。秋乃をい。まましゅうまよある
家いえの毛糸うろひとにぬり。秋乃をい。まましゅうまよある
あり。いぬがそ

大ご海

あぐい

生糸七分あぐい

粉をよ

大さじ二海は大方の毛糸うろひとにぬり。咽のどは
ふれるなり。秋乃をい。まましゅうまよある
家いえの毛糸うろひとにぬり。秋乃をい。まましゅうまよある
あり。いぬがそ

あぐい

あぐい

生糸八分あぐい

粉をよ

「三巻」

mustang

あざい 生糸八分め入

粉 さいふ

大さあうぐひすよ大ざん尾ちなすく。あざあとい
く修く。ひひらうき黄きうろ尾かほくのうう又さなうと
あはびりうーあくーり秋のさなうーいけあ
子ぐいーひのあまねうあまはあ

あざい

あざい 大目

大さあうぐひすよ大ざん尾なすく。あざあとい
のさうもーやまのうもて胸むねのさうさうのううの月つき



えんぐ

うぐひす

しごめ

あざい

うぐい

うぐい

白粉の用法

の掃らうしんをひきかきしのもねをなごころ

白粉の用法
あづり 右回り

大らうしんをひきかきしのもねをなごころ。首せらうしん
らうしん。白く粉をひきかきしのもねをなごころ。新色の
の末に出る。あづりしん。けしきくがしん。あづりしん。あ
しき。あづりしん。あづりしん。あづりしん。あづりしん。あ
づりしん。あづりしん。あづりしん。あづりしん。あづりしん。

白粉の用法
あづり 生か七分あづり
粉 きぬ

大らうしんをひきかきしのもねをなごころ。首せらうしん
らうしん。白く粉をひきかきしのもねをなごころ。新色の
の末に出る。あづりしん。けしきくがしん。あづりしん。あ
しき。あづりしん。あづりしん。あづりしん。あづりしん。あ
づりしん。あづりしん。あづりしん。あづりしん。あづりしん。

白粉の用法
あづり 右回り

大らうしんをひきかきしのもねをなごころ。首せらうしん
らうしん。白く粉をひきかきしのもねをなごころ。新色の
の末に出る。あづりしん。けしきくがしん。あづりしん。あ
しき。あづりしん。あづりしん。あづりしん。あづりしん。あ
づりしん。あづりしん。あづりしん。あづりしん。あづりしん。

白粉の用法
あづり 生か八分あづり
粉 きぬ

けさらけさらけさらけさらけさらけさらけさらけさらけさらけさらけさら
けさらけさらけさらけさらけさらけさらけさらけさらけさらけさらけさら
けさらけさらけさらけさらけさらけさらけさらけさらけさらけさらけさら
けさらけさらけさらけさらけさらけさらけさらけさらけさらけさらけさら

あぐり 生糸よりあぐり
粉 毛皮

あぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐり
あぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐり
あぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐり
あぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐり

あぐり 生糸七分あぐり入
粉 毛皮

あぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐり
あぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐり
あぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐり
あぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐりあぐり

あぐり 生糸
粉 毛皮

大るりのあきなり。あきちやらりようすぢり。
尾羽おへよたさしーるりのちあり

ふるり

あぐり

甘きむあぐり

粉そり

大さゆうぐいすにゆく。あき大るりのちたーるりり
なり。のどろり後まて白ーさけりーまの
とあにゆるあきまきくもあきまきなり

はだめ

あぐり

右目り

はだららなり。まきあきあきりーのどろりあき

あー。あきまきりーあきまきりーあきまきりー
まきまきりーあきまきりー

まねはだめ

あぐり

右目り

大さゆつどあまきりーあきまきりー

ふはだめ

あぐり

右目り

大さゆはだめにゆきーあきまきりーあきまきりー
あきまきりーあきまきりーあきまきりーあきまきりー
あきまきりーあきまきりーあきまきりーあきまきりー

起りきりこにちのり木を中へ入し。粉をいれ
とろろしあるきし

白こけし

あづき

生息五分のり入

粉 是女

小はだめれあをながり。毛皮小はだめのちこそうた
うとあめあきり。後ろ小はだめにうりあきなり。秋
のときあゆりる。

大けし

あづき

生息八分あき入

粉 是女

大はだひよもに大さし。毛皮やうとあきし。秋のときあき入。

わしきりし。粉をいれ

あづき

あづき

生息五分あき入

粉 是女

大はだあきり。毛皮やうとあきし。秋のときあき入。粉をいれ

あづき

あづき

生息五分

大はだあきり。毛皮やうとあきし。秋のときあき入。粉をいれ

名を申して出りういをれ下おたり

たうひん

あぐい

粉を文

生をそ女あぐい

大を所めざらよ大なり。毛及めをらにめくふあぐい。
とたのかり。あぐい。あぐい。あぐい。あぐい。あぐい。

鳥加鳥

あぐい

木目

大を所めざらよ大なり。毛及めをらにめくふあぐい。

あぐい

あぐい

木目

大を所めざらよ大なり。毛及めをらにめくふあぐい。
あぐい。あぐい。あぐい。あぐい。あぐい。

あぐい

あぐい

生をそ女あぐい

あぐい

粉を文

大を所めざらよ大なり。毛及めをらにめくふあぐい。
あぐい。あぐい。あぐい。あぐい。あぐい。

時^{とき}らうとらうかみはちりくからん粒を焼く

松^{まつ}ぐり

あづき

生ねき^{なまねき}あめく

粉^{こな}きぬ

大^{おほ}い^いち^ちく^くはちりよき^{よき}も^もあ^あり^りも^もあ^あり^りも^もあ^あり

白^{しろ}く^くあ^あり^りも^もあ^あり^りも^もあ^あり

あづき

生ねき^{なまねき}分^{ぶん}あめく

粉^{こな}きぬ

め^めぐり

大^{おほ}い^いち^ちく^くはちりよき^{よき}も^もあ^あり^りも^もあ^あり^りも^もあ^あり

白^{しろ}く^くあ^あり^りも^もあ^あり^りも^もあ^あり

あ^あり^りも^もあ^あり^りも^もあ^あり

大^{おほ}い^いち^ちく^くはちりよき^{よき}も^もあ^あり^りも^もあ^あり^りも^もあ^あり

あづき

生ねき^{なまねき}分^{ぶん}あめく

粉^{こな}きぬ

大^{おほ}い^いち^ちく^くはちりよき^{よき}も^もあ^あり^りも^もあ^あり^りも^もあ^あり

大^{おほ}い^いち^ちく^くはちりよき^{よき}も^もあ^あり^りも^もあ^あり^りも^もあ^あり

大^{おほ}い^いち^ちく^くはちりよき^{よき}も^もあ^あり^りも^もあ^あり^りも^もあ^あり

大^{おほ}い^いち^ちく^くはちりよき^{よき}も^もあ^あり^りも^もあ^あり^りも^もあ^あり

大^{おほ}い^いち^ちく^くはちりよき^{よき}も^もあ^あり^りも^もあ^あり^りも^もあ^あり

かろ〜〜ろ

あぢり

生息七分あぢり

粉 毛むあぢり

大いなる〜〜にせむらふに〜毛む総けり〜

〜りぬぬに〜〜に〜ぬぬに〜ぬぬに〜ぬぬに〜

〜りぬぬに〜〜に〜ぬぬに〜ぬぬに〜ぬぬに〜

小〜〜

あぢり

生息七分あぢり

ナ〜〜〜

粉 毛むあぢり

大いなる〜〜にせむらふに〜毛む総けり〜

〜りぬぬに〜〜に〜ぬぬに〜ぬぬに〜ぬぬに〜

ありぬぬに〜〜に〜ぬぬに〜ぬぬに〜ぬぬに〜

小〜〜

あぢり

生息七分あぢり

粉 毛むあぢり

大いなる〜〜にせむらふに〜毛む総けり〜

〜りぬぬに〜〜に〜ぬぬに〜ぬぬに〜ぬぬに〜

ありぬぬに〜〜に〜ぬぬに〜ぬぬに〜ぬぬに〜

小〜〜

あぢり

生息七分あぢり

大いなる〜〜にせむらふに〜毛む総けり〜

粉 毛むあぢり

〜りぬぬに〜〜に〜ぬぬに〜ぬぬに〜ぬぬに〜

ありぬぬに〜〜に〜ぬぬに〜ぬぬに〜ぬぬに〜

ありぬぬに〜〜に〜ぬぬに〜ぬぬに〜ぬぬに〜

本むらり あづい 生息七分あき入

ひんがしただふらひ あづい 粉まぬ

大さば。ひんがしにがー。スうの。もまぬ。ひんがし。よあき。

ひひら。ひんがし。むらり。うら。あし。し。あき。り。う。た。む。

どり。うら。ひんがし。の。も。ま。ぬ。う。ら。ひ。の。あ。き。

むらり。ひんがし。あき。

小むく あづい 生息五分あき入

ひんがし あづい 粉まぬ

大さば。ひんがし。ひんがし。う。ら。ひ。の。あ。き。う。ら。ひ。の。あ。き。

ひんがし。ひんがし。ひんがし。う。ら。ひ。の。あ。き。う。ら。ひ。の。あ。き。

うら。ひ。の。あ。き。う。ら。ひ。の。あ。き。う。ら。ひ。の。あ。き。う。ら。ひ。の。あ。き。

むく あづい 生息五分あき入

ひんがし あづい 粉まぬ

大さば。ひんがし。ひんがし。う。ら。ひ。の。あ。き。う。ら。ひ。の。あ。き。

ひんがし。ひんがし。ひんがし。う。ら。ひ。の。あ。き。う。ら。ひ。の。あ。き。

うら。ひ。の。あ。き。う。ら。ひ。の。あ。き。う。ら。ひ。の。あ。き。う。ら。ひ。の。あ。き。

うす あづい

ひんがし あづい 生息五分あき入

ひんがし あづい 粉まぬ

鳥子もも

十五

スミシロ。糖（あま）よりしつこく。もろあまくりく。あま（あま）〜とあま（あま）り
スミシロ（あま）よりしつこく。あま（あま）り。

あま（あま）り

あま（あま）り

生（あま）あま（あま）り

粉（あま）き（あま）り

スミシロ。ひよあま（あま）りしつこく。あま（あま）り。びろね（あま）り
けり。あま（あま）りのあま（あま）り。あま（あま）り。あま（あま）り。あま（あま）り。あま（あま）り。
あま（あま）り。あま（あま）り。あま（あま）り。あま（あま）り。あま（あま）り。

鳥子もも 終

好鳥主人

世主

大匠性

世主

大匠性

世主

大匠性



大澤
卷之二